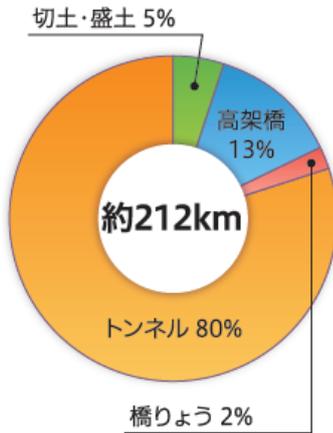


鉄道・運輸機構（JRTT）北海道新幹線建設局では、北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の建設主体として、北海道新幹線の整備事業を進めています。この度、北海道新幹線建設に関する様々な情報を発信するため、ニュースレターを発行することとしました。

鉄道・運輸機構（JRTT）とは

鉄道・運輸機構（JRTT）は、新幹線建設、内航海運、都市鉄道・地域鉄道、海外の高速鉄道整備を担っており、鉄道建設の分野では、わが国唯一の公的な技術者集団として、輸送体制の確立に貢献しています。



私たち北海道新幹線建設局は、主に北海道新幹線の建設を担当しております。新青森から新函館北斗は平成28年3月に開業しました。現在は新函館北斗から札幌までの工事を行っており、その距離は約212kmとなります。北海道新幹線の特徴として、新函館北斗から札幌まで約80%がトンネルとなっています。それには「**山がちな土地を高速で走るため、できるだけ直線に近いルートにする必要がある**」「**雪に強い設計とする**」という理由があります。

北海道新幹線建設局では、環境に配慮しながら、安全に留意して工事を進め、令和12年度末開業を目標として、着実に事業を推進していきます。

直近のニュース

令和3年12月13日(月)

札幌市の手稲山口地区にあります受入地に発生土の搬入を開始しました。地域の皆様の安全の確保や地域の環境の保全に最大限配慮しながら工事を進めています。



受入地を上空から撮影



発生土の搬入を開始

令和4年1月15日(土)

北斗市にある渡島トンネル台場山工区にて、JR北海道主催のツアー参加者（大人24名 子供4名 計28名）を対象としたトンネル工事現場見学を開催しました。



説明を受けながら移動（坑内）



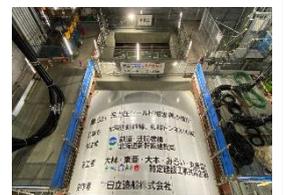
重機の試乗体験

令和4年1月28日(金)

札幌市の手稲区西宮の沢にあります札幌トンネル札幌工区の掘削を開始しました。シールド工法を採用し、小樽方面に向け周辺環境に配慮しながら安全に掘り進めていきます。



組立て中のシールドマシン



発進前のシールドマシン

